

標語の部

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| 見て見ぬは 誰かの心閉ざすだけ<br>小さな勇気 未来をひらく<br>菊池農業高校 三年 池邊 美裕 | 笑顔咲く<br>だれかの勇気に 心が輝く<br>菊池南中学校 一年 村上 結愛 | 思いやり<br>君にすくわれ わたしの番<br>菊池北小学校 四年 森上 凜 | 大切にしたいな<br>ぼくの名前 ありがとう<br>隈府小学校 三年 最上 朝耀 |
|--|---|--|--|

4コマ漫画の部

① 好きな人って誰なの？

② 男の子？女の子？

③

④

「救われた言葉」

菊池南中学校 二年 山本 芽依

昨年12月13日(土)に、菊池市泗水ホールにて第20回菊池市人権フェスティバルを開催しました。市内外から423人の方々にご来場いただきました。

会場では市内小中学生を中心に多くの応募があった人権作品の中から、特選12点、入選46点、合計58点を選出・展示しました。人権作品についてはフェスティバル開催後中央公民館、七城公民館、泗水公民館、旭志公民館の順に巡回展示を行いました。現在西部市民センターにて展示中です(3月1日現在)。ぜひご覧ください。



沢 知恵さん

今回のフェスティバルの人権啓発講演会では、沢知恵さんに「かわらなければ～ハンセン病を生きた人のうた～」と題して、ご自身の半生とともに、ハンセン病を生きた人の思いを乗せた詩の朗読を交えながらお話いただきました。

参加者からは、「『かわらなければ』物事の始まりで、原点だと思う。何事にも大にかかわり人間らしく生きたい」といった感想があり、「人とかわる」ことを前向きにとらえる講演でした。また、ステージ発表では学校・団体から3つの実践発表が披露され、菊池市民全体で「人権を大切に作る差別のない明るいまちづくり」について様々な視点から考える機会となりました。



▲泗水小学校による実践発表

「なかまづくり委員会」の取組や熊本県人権子ども集会の参加についての発表がありました



▲旭志中学校による実践発表

「旭志中人権宣言」作成の経緯を生徒会三役が発表し、宣言文を読み上げました



▲女性団体代表者会による実践発表

4つの団体から女性活躍のための実践など様々な取組の発表がありました



▲泗水解放子ども会によるからいも販売

毎年大繁盛！今年も閉会前に完売しました

第20回

差別のない明るいまちづくりのための菊池市人権フェスティバル

大会報告

No.57

2026(令和8)年 3月1日発行



差別のない明るいまちづくりのための 第20回 菊池市人権フェスティバル

紙面紹介

第20回 菊池市人権フェスティバル

- 1ページ 特選人権作品紹介  
ポスターの部・詩の部
- 2ページ 作文の部①
- 3ページ 作文の部②
- 4ページ 標語の部・4コマ漫画の部
- 5ページ 大会報告

ふるさと

明るく住みよいまち  
それは一人ひとりの人権が  
大切にされ、  
誰もが明るく幸せに  
生きていくことが  
できるまちです

編集・発行 菊池市 菊池市教育委員会 菊池市人権・同和教育推進協議会

リーフレットに関するお問合せは

菊池市役所総務部人権啓発・男女共同参画推進課まで TEL 0968-25-7209 (直通)

### 第20回 菊池市人権フェスティバル特選作品紹介

#### ポスターの部



「みんなでえがおに」  
花房小学校 2年 深田 樹



「救いの手」  
菊池南中学校 1年 田中 優



「笑顔で自分らしく自信を持とう」  
七城小学校 6年 中村 彩花

#### 詩の部

##### 手で伝える気持ち

菊池南中学校 二年 北村陽菜乃

話しかけても  
返事がなくて  
笑う子がいた  
「なんで無視するの?」って  
ひどいことを言う子もいた  
でも、その子は聞こえなかっただ  
けなんだ  
それを知って、なんだか胸が  
ぎゅっとなった  
ちゃんと見てたら  
わかるはずなのに  
どうしてそんなふう言うんだ  
ろって思った  
その子にはこって笑って  
手でこぼを伝えてくれた  
声じゃなくても  
ちゃんと気持ちは届くんだって  
音がなくても  
伝わるんだって  
そのとき初めて気づいた  
声が出せなくても  
聞こえなくても  
伝える力はちゃんとある  
ほんとうに大事なものは  
「伝えたい気持ち」と  
「受け取る心」なんだと思った。

#### 作文の部

##### 私のおばあちゃん

七城中学校 三年 菊永 柚季

私は認知症の人と関わることは遠い存在だと思っていました。しかし、昨年の冬におばあちゃんが認知症を発症し、認知症について知ったり調べたりする機会が増えました。私が詳しく認知症

を知ろうとする前の知識は記憶が薄れてしまったり、周りや自分の名前を忘れるなどといった情報だけでした。

おばあちゃんが認知症にかかってから、おばあちゃんの家に帰ってお世話をするが増えました。さつきご飯を食べたと思っただけ「ご飯食べたから何か買ってきてほしい」と頼んできたり、同じ話を何度も繰り返してきたりなどといったことがたびたび多くなっていました。おばあちゃんに会うことで認知症はどんどん進んでいるんだなと感じつつも、私はイライラやめんどくさいという感情が募りおばあちゃんの話の適度に流し、避けることも沢山ありました。

ある日、おばあちゃんに「こんなふうになるはずじゃなかったのに、迷惑かけてごめんね。早くいなくなつた方がいいね。」と言われました。その時はなんと返してあげればいいのかかわからず「そんなことないよ。」と言つことしかできませんでした。正直、「ご飯やお風呂のお手伝いをするのは全然よかつたけどおばあちゃんと同じ話を何度も聞かされるのが嫌でした。こんなことを思ってしまう私にもおばあちゃんは優しくしてくれて、「あなたには私にとって最初の孫だからね。大切だよ。」と言ってもらえた時、泣きそうになりました。嫌な部分もあるけど認知症になりたくてはいるわけではないし、おばあちゃんも自分自身と闘っているんだなと思うと私はそれに寄り添ってあげることが大切なんだなと思うようになりました。

他にも私にできることはないのかなと思ひ、認知症のことについて調べてみることにしました。認知症の人にとって一番心地よいのは「笑顔」だということがわかりました。不安や孤独、ストレスなどを与えないためにも、安心してもらえるように、笑顔で会話し、優しい雰囲気作りをしようと思ひました。

##### ぎ足のじいじ

泗水東小学校 二年 森本 潤

ぼくのじいじは、ぎ足をつかっています。二年前にびょう気で右足のひざから下をせつだんだんしたからです。リハビリしているびょういで、とおくから車イスにのつてるすがたを見て少しびつくりしました。

ぎ足をはめてない時のじいじの足はムチムチしています。ぎ足をはめるとあるいたり、はたけで野さいをそだてたりできます。じいじのつくつたやさいはとてもおいしいです。

ばあばのうんでじいじとおかいものについた時は、ついたりすることもあるのだけれど、手をつないでゆつくりあるきます。



##### 自信をもって私らしく

隈府小学校 六年 松村 心春

「月曜日は学校を休みたい。」  
私は、日曜日の夜になるとこう思っていました。不安があったからです。六年生になり新しいクラスになり、仲の良い友達ができる心配でした。一つ心配なことがあるといろんなことも不安になり、「いやだなく。」と思うようになりました。

五月に運動会のクラスリレーの練習が始まりました。バトンパスの練習をする中であまり話したことがない友達とも話すようになりました。表現のフラッグの練習もあり、「タイミングを合わせたいな。うまくフラッグを回したいな。」と思うようになりました。

算数の授業では、五年生の時より学習が分かるようになりました。私が困っていると、「分かる?」と声をかけてくれる友達がありました。その友達は、授業中だけではなく休み時間も話しかけてくれました。ある日、

「心春ちゃんは、一番の親友だよ。」  
と何気ない会話の時に言ってくれました。私は、心が温かくなりました。きりました。私はいつの間にか学校に行くのが少し楽しみになりました。休みの日にも、友達と遊ぶ約束をするようになりました。一人の友達からつながりが広がり、三人、四人と遊ぶ人数も増えてきました。

私は今、最初の不安が消えてきています。それは、友達とのつながりができてきたからです。私のことを分かってくれる人。私のことを助けてくれる人。そして、信頼できる人ができました。だから、私もクラスのみんなのためにできることを考えました。それは、自分から話しかけることです。クラスの友達が困った時は、私が力になりたいと思つていました。私は、今、毎日が楽しいです。楽しい気持ちになると、がんばりたいことも増えてきました。そして、水泳で二十五メートル泳げるようになったり、みんなの前で発表する時に緊張しなくなつたりと、自分で成長を感じることもあります。以前のように、不安に思つたり、なんでもマイナスに考えてしまつていた自分より、今の自分が好きです。今はもっともつとやりたいことが増えていきます。何かモヤモヤした時は自分から勇気を出して気持ちを伝えたいです。そして、何より自分に自信をもって私らしく学校生活を送ろうと思えるようになりました。

私は、学校の思い出を紙にまとめることが好きです。きっかけは、運動会の集合写真を先生からもらったことです。その時に、運動会の思い出をまとめて書き込みました。自分の顔を見て「いい笑顔だな。」と思ひました。うれしかったこと、がんばったことが頭の中に浮かんでくるので楽しい時間になっています。これからは、クラスみんなと思ひ出をいっぱい作りたいです。

